

キイトルーダ単独療法					
		Day			
薬剤名	用法用量	1			21
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg 点滴静注(30分以上)	↓			

3週間ごと PD（憎悪）まで

【基本事項】

切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

【レジメンポイント】

副作用	程度	処置
間質性肺炎	Grade2	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する。なお、4週間を超えてGrade1以下に回復した場合には、本剤の投与間隔を3週間として再開する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には本剤を中止
	Grade3以上または再発性のGrade2	本剤を中止する
大腸炎・下痢	Grade2または3の場合	Grade1以下に回復するまで本剤を休薬する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には、本剤を中止
	Grade4または再発性のGrade3	本剤を中止する
腎機能障害	Grade2	Grade1以下に回復するまで、本剤を休薬する 12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には、本剤を中止
	Grade3以上	本剤を中止する

肝機能障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ASTもしくはALTが基準値上限の3～5倍または総ビリルビンが基準値上限の1.5～3倍に増加した場合</li> </ul>	基準以下に回復するまで本剤を休薬する。12週間を超える休薬後も左記の基準まで回復しない場合には、本剤を中止
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ASTもしくはALTが基準値上限の5倍超または総ビリルビンが基準値上限の3倍超に増加した場合</li> <li>・ 肝転移がある患者では、ASTまたはALTが治療開始時にGrade2で、かつベースラインから50%以上の増加が1週間以上持続する場合</li> </ul>	本剤の投与を中止
内分泌障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Grade2以上の下垂体炎</li> <li>・ 症候性の内分泌障害（甲状腺機能低下症を除く）</li> <li>・ Grade3以上の甲状腺機能障害</li> <li>・ Grade3以上の高血糖</li> <li>・ 1型糖尿病</li> </ul>	Grade1以下に回復するまで、本剤を休薬する 12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には、本剤の中止を検討
Infusion reaction	Grade2	本剤の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度50%減速して再開する
	Grade3以上または再発性のGrade2	本剤を直ちに中止し、再投与しない
上記以外の副作用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Grade4または再発性のGrade3の副作用</li> <li>・ Grade3以上の心筋炎、脳炎、ギラン・バレー症候群</li> <li>・ 副作用の処置としての副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合</li> <li>・ 12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合</li> </ul>	本剤を中止する

【主な副作用】

irAE（間質性肺炎、大腸炎、甲状腺機能障害、糖尿病等）